勞働寸劇 職工 勞銀値下

職工澁々承認

中央各勞寸會社は二月世界の各工場職工が一様に一割八分引の通牒を發行する事を聞き本月一日より實行の旨發表した之等勞寸會社に働く職工は神戸市内に約一萬二千名あり何れも事情已むを得ざるものとして澁々承認したが關西勞寸勞働組合長宮崎敬馬氏は各會社に對し景氣恢復の上は直に元通り賃銀引戻しを交渉し其言質を得た（東京）

門を破壞して亂入す

造船所の職工團

遂に三名は檢束さる

大阪市西區中口町一番地小野鐵工造船所が解雇手當につき騒擾中であるは一日朝刊所報の如く、ツヒに侵入し事務員との間に爭鬪を亂暴を極め支配人中田篤郎氏は殴叩きにされた上手を今も助けてくれと悲鳴をあげたあるが二日に至り先に

解雇した百十名の外に同場には尚六十名の殘つてゐたので會社は二十八日突如當員の鈑打職工三十五名、コーキング職工十二名を解雇し且解雇手當は支給しない旨を壁明し强硬なる態度を示したので

立憲勞働黨幹部三十名は一日午後四時會社に乗込み武田技師と解雇手當につき議論を重ねたるに同技師は工場主を代表し明日包金を支給するがこれが正規の解雇手當たる六箇月未滿は二十日間、一箇月未滿は三十一日、一箇月を加ふる毎に一日分即ち一年十二日分に達しない時は訴訟をするもよいと契約したので一日は午後二時から組合幹部三十名と鈑打工代表者二名とが會見したが遂に契約を裏切つたので職工側は紛擾に於て武田技師と會見したが遂に契約を裏切つたので職工側は紛擾に於て武田技師と會見したが一日は午後二時から組合幹部三十名と鈑打工代表者二名とが會見したが遂に聲高に衝突し三名の檢束者を出し午後九時頃散り〳〵になつた。

屋根の上と下とで喧嘩

解雇手當に關する騒擾を極めたが結局警官五十名が護衛の下に組合長藤田氏及北島氏、田村、夏木の五名が會見し解雇手當は二十日、荒木、田村、夏木の五名が會見し解雇手當は二十日、荒木、田村、夏木の五名が會見し解雇手當は二十日、荒木